

令和元年度事業評価 課別評価シート

【企画政策部 情報政策課】

目 次

1 各事業の進捗管理	P. 1
2 【産業振興】分野の事業の評価	P. 2
3 【観光】分野の事業の評価	P. 3
4 【災害対策】分野の事業の評価	P. 4

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
観01-01	無料公衆無線LANの整備

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《検討の視点》

課題の洗い出し

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化 ○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化 ○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度
(事業実績の推移) | <ul style="list-style-type: none"> ○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付 ・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮 ・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など |
|--|---|

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分

【方向性の類型】

- | | |
|--|---|
| 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの
改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの
終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの | 現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの
縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
終了済 → 昨年度までに終了した事業 |
|--|---|

1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号	事業名	中間アウトカム				
		観光(C)			産業振興(B)	災害対策(B)
観01-01	無料公衆無線LANの整備					
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	区有施設への公衆無線LAN設置	ヶ所	67	2		70
	区内商店への公衆無線LAN設置	ヶ所	110	44		360
	事業費(千円)		13,440	15,150		
	行政コスト(千円)		-	-		
	所要人員		1.286	1.107		
進捗の課題と改善策	区内商店のWi-Fi環境整備補助の利用実績は5件であり、利用が伸びていません。利用を促進するため、区報、区ホームページ、ちらし、文京区商店街連合会を通じた事業案内、各個店へのDM発送等により周知に努めます。					有

2 【産業振興】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【企画政策部 情報政策課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	3-2 産業振興
将来像	豊かな区民生活を支える、活力みなぎる産業と商店のあるまち

中間アウトカム (B) 商店街の魅力が向上し、活気が高まっている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
観01-01	無料公衆無線LANの整備	情報政策課 (経済課)	国内外からの観光客等が、インターネットを利用して区の観光情報等を容易に取得することができる	現状維持	改善・見直し
課題及び今後の方向性の内容		セミナー等を通じ、インバウンド需要の獲得に向けた商店街におけるWi-Fi整備のメリットや必要性について情報発信を行ってきましたが、申請件数の増加が見込まれないため、区内商店のWi-Fi環境整備補助は、今年度終了の方向で検討します。			
産02-02	チャレンジショップ支援事業	経済課	区内商店街の空き店舗で開業し、商店街が活性化している		
産04-01	商店街支援事業	経済課	商店の経営基盤が強化され、商店街の主体的な取組が促されている		
産04-02	文京ウェルカム商店街事業	経済課	文京区を訪れる外国人が快適に店舗を利用している		
文02-01	「来て見て体験」文京の伝統工芸	経済課	伝統工芸品の魅力が認知され、ものづくりに関心のある多くの観光客等が商店街を訪れている		

3 【観光】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【企画政策部 情報政策課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画	
中項目	3-6 観光
将来像	何度も訪れたいくなる、魅力とおもてなしの心あふれるまち

中間アウトカム (C)		観光客が観光しやすい環境になっている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回 (H30)	今回
観01-01	無料公衆無線LANの整備	情報政策課 (アカデミー推進課)	国内外からの観光客等が、インターネットを利用して区の観光情報等を容易に取得することができる	現状維持	現状維持
産04-02	文京ウェルカム商店街事業	経済課	文京区を訪れる外国人が、快適に店舗を利用している		
観01-03	観光インフォメーションの運営	アカデミー推進課	区内を訪れる観光客のニーズに合った的確な情報が提供されている		
観03-01	観光ガイド事業の充実	アカデミー推進課	誰でも気軽にまちあるきを楽しむことができる		
観03-02	「文の京」外国人おもてなし隊育成事業	アカデミー推進課	外国人観光客が安心して区内の観光を楽しんでいる		
観04-02	自転車シェアリング事業実証実験	管理課	自転車シェアリングが新たな公共交通手段として定着するか可能性を検証する		

4 【災害対策】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【企画政策部 情報政策課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画	
中項目	4-3 災害対策
将来像	備えと助け合いのある災害に強いまち

中間アウトカム (B)		災害に強い都市整備が進んでいる			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回 (H30)	今回
観01-01	無料公衆無線LANの整備	情報政策課 (防災課)	国内外からの観光客等が、インターネットを利用して災害時の情報を容易に取得することができる	現状維持	現状維持
住01-01	地区まちづくりの推進	地域整備課	市街地の防災性が向上している		
住01-02	再開発事業の推進	地域整備課	市街地の防災性が向上している		
環01-01	環境改善舗装	道路課	治水対策など、都市環境の改善が図られている		
災対01-02	耐震改修促進事業	地域整備課	建物の耐震化が進んでいる		
災対03-01	熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	防災課	熊本地震を踏まえ、区の災害対策の充実・強化が図られている		
災対03-02	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる		
災対03-03	細街路の整備	地域整備課	災害時の活動に配慮した道路拡幅整備が進んでいる		
災対03-04	区道870号無電柱化事業	道路課	災害時における緊急輸送道路の通行障害が防がれている		
災対03-05	シビックセンター改修	施設管理課	シビックセンターの防災拠点としての機能が向上している		
安01-02	文京区空家等対策事業	住環境課 (建築指導課)	管理不全な空家が減っている		
安03-04	橋梁アセットマネジメント整備	道路課	橋梁の適切な予防保全が図られている		

評価実施のチェックリスト

以下の各項目は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度（事業実績の推移）
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分